

工 事 設 計 図 書								
年 度	令和5年度	技術 管理者	課長	係長	係長	精算者	設計者	資 産 減 耗 費
工 事 番 号								設 計 年 月 日
着 工 番 号								令 和 年 月 日
								精 算 年 月 日
施 工 理 由								
施 工 箇 所	明石市小久保6丁目6地先					施 工 方 法 及 び 工 事 期 限	<input checked="" type="radio"/> 請 負 単 価 契 約 令 和 5 年 7 月 3 1 日 ま で	
工 事 名 称	鳥羽浄水場第34号井戸施設撤去工事					支 払 い 方 法	前 払 金	40% 以 内
							中 間 前 払	20% 以 内
							部 分 払	な し
工 事 概 要								
	土工				1 式			
	撤去・処分工				1 式			
当 初 設 計 金 額	円	内 消 費 税 相 当 額		円	当 初 請 負 金 額	円	内 消 費 税 相 当 額	
変 更 設 計 金 額	円	内 消 費 税 相 当 額		円	変 更 請 負 金 額	円	内 消 費 税 相 当 額	
増 減	円	増 減		円	増 減	円	増 減	

契約数量表

頁0-0001/0004

本工事費	費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
	鳥羽F34号井戸施設					
	土木工事					
	撤去工事					
	土工		式		1	
	掘削積込工		m3		43	
	埋戻工(埋戻し材→流用土)		m3		9	
	埋戻工(埋戻し材→再生切込砕石)		m3		49	
	埋戻工(埋戻し材→砂)	人力	m3		9	
	残土処分	〔栲田口建材〕	m3		34	
	コンクリート打設工	18-12-20N	m3		0.5	
	型枠	一般型枠	m2		2	
	舗装版切断(アスファルト舗装版)	As舗装版厚→15cm以下	m		9	
	舗装版取壊し積込工	舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	m2		11	
	残塊処分工(アスファルト)	〔加古川サイクル(有)〕	m3		0.6	
	仮復旧工〔密粒度〔再〕(13)〕	厚 5cm	m2		1	
	路盤工(粒調砕石)	仕上り厚10cm	m2		1	
	不陸修正工(粒調砕石)	施工幅：1.8m 未満、補足材厚3cm	m2		10	

契約数量表

頁0-0002/0004

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
表層(歩道部)	t = 50mm	m ²		10	
誘導ブロック撤去・再設置工	砂基礎共	枚		5	
防音シート工	H=1.8m, L=15m程度	式		1	
フェンスバケット	H=1.8m	m		11	
軽量鋼矢板建込引抜工(両側分)		m		5.6	
土留支保工(設置+撤去)		m		5.6	
矢板賃料		式		1	
アルミ矢板支保工賃料(軽量鋼矢板2.0m用)					
鋼矢板賃料 軽量型(Ⅱ型・Ⅲ型)					
鋼矢板整備費 軽量型(Ⅱ型・Ⅲ型)					
撤去・処分工		式		1	
構造物取壊し工	コンクリート構造物	m ³		14	
残塊処分工(コンクリート)	[田口建材㈱]	m ³		14	
電柱撤去・処分		本		1	
引込開閉器盤撤去	配線, 配管類共	面		1	
現場制御盤撤去	配線, 配管類共	面		1	
井戸用ケーブル類撤去	配管, フォルボックス共	m		100	
FRP製井戸ヒット蓋撤去		基		1	

契約数量表

頁0-0003/0004

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
足掛金物撤去		箇所		3	
ネットフェンス撤去	H=1,800	m		21.2	
導水管撤去	呼び径 150mm他	m		8.3	
铸铁管(既設管)撤去切断工(エンジンカッター)	ダクタイル铸铁管 呼び径150mm	口		5	
円形1号ボックス撤去工(H=1040)	鉄蓋設置撤去含む	箇所		1	
铸铁製仕切弁(機械力)撤去	縦型仕切弁 呼び径 150mm	基		1	
DK 帽 φ150 設置工	接合材含む	箇所		1	
HIVP管 撤去	呼び径 50mm	m		4.6	
φ50スリートバルブ 撤去	Box共	箇所		1	
SUS管撤去	呼び径 50mm	m		1	
無収縮珪砂充填		式		1	
井戸ケーシング撤去	φ350, φ250	m		1.9	
ケーシングガス切断工	φ350, φ250	口		3	
現場発生品・支給品運搬	スクラップ 処分	回		1	
現場発生品・支給品運搬	廃プラスチック処分	回		1	
処分費(廃プラスチック類)		t		0.3	
交通誘導管理工		式		1	
交通誘導警備員 B					

令和5年度 鳥羽浄水場第34号井戸施設撤去工事

特記仕様書

明石市水道局

工事概要

1. 発注年度	令和5年度				
2. 事業名	資産減耗費				
3. 工事場所	明石市小久保6丁目6地先				
4. 工事名	鳥羽浄水場第34号井戸施設撤去工事				
5. 工期	令和5年7月31日限り				
6. 工種概要	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="text-align: center;">土工</td> <td style="text-align: right;">1式</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">撤去・処分工</td> <td style="text-align: right;">1式</td> </tr> </table>	土工	1式	撤去・処分工	1式
土工	1式				
撤去・処分工	1式				

基準図書

(土木工事)

- ① 兵庫県県土整備部監修「土木請負工事必携（平成29年12月）」
- ② 兵庫県県土整備部監修「土木工事共通仕様書（平成29年12月）」
- ③ 兵庫県県土整備部監修「土木工事施工管理基準（平成29年12月）」
- ④ 土木学会監修「コンクリート標準示方書[施工編]（2017年制定）」
- ⑤ 日本下水道事業団編著
「下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術指針・同マニュアル」
- ⑥ 日本コンクリート工学協会「コンクリートのひび割れ調査，補修，補強指針-2013-」
- ⑦ 日本水道協会 「JWWA K 143」

(建築工事)

- ① 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（令和4年度版）」
- ② 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築工事監理指針（令和元年度版）」
- ③ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（令和4年度版）」
- ④ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築改修工事監理指針（令和元年度版）」
- ⑤ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築工事標準詳細図（令和4年度版）」
- ⑥ (社) 公共建築協会監修
「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿（令和2年度版）」
- ⑦ 日本建築学会「鉄筋コンクリート造のひび割れ対策（設計・施工）指針案・同解説」
- ⑧ 日本水道協会 「JWWA K 143」

以下、適用する項目、特記事項は、数字手前に ※， ■印が記載しているものを採用する。

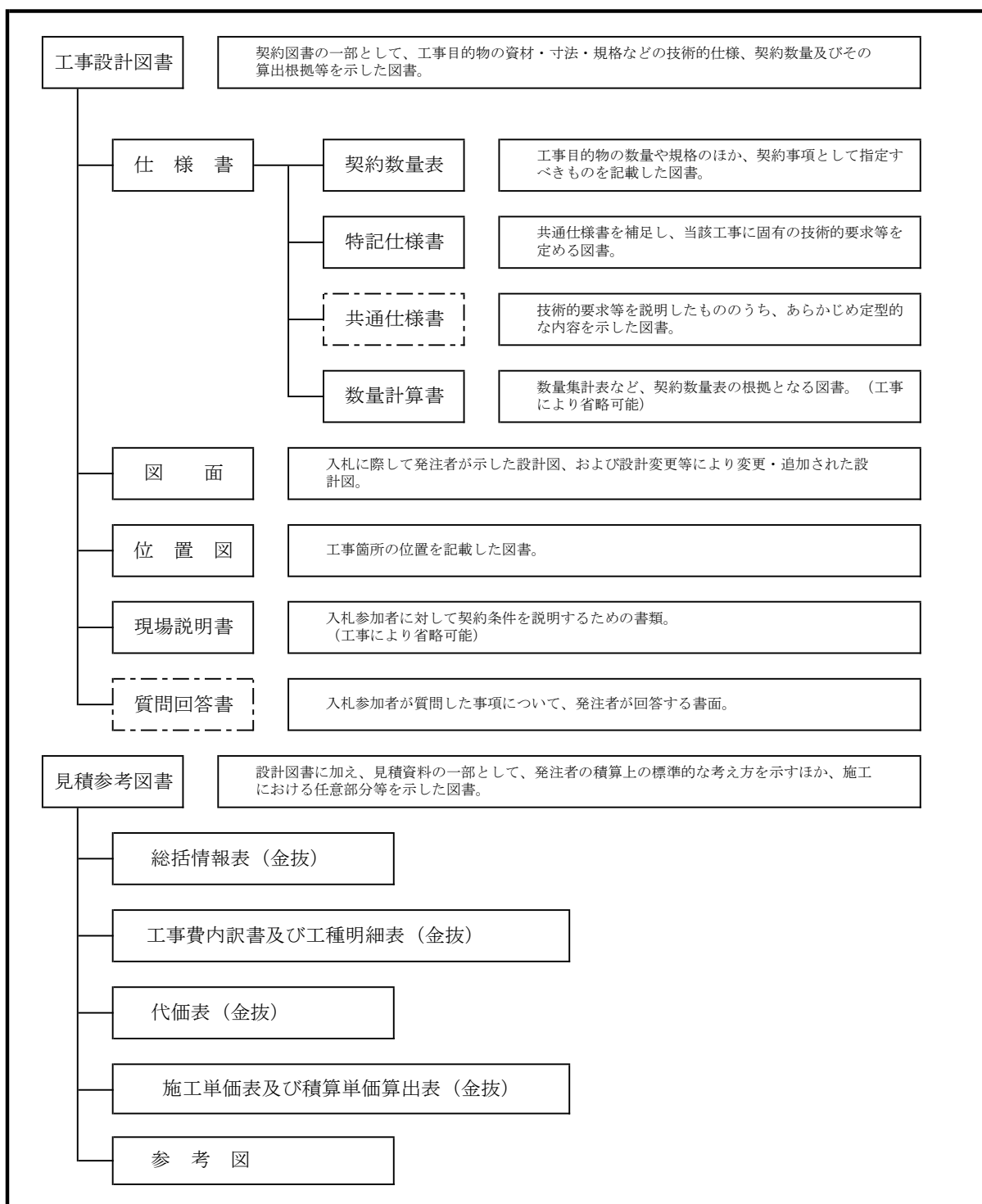
章	工 事	項 目	特記事項
1	一般共通事項	※ 1 主任技術者等 ※ 2 材料等 ※ 3 特別な材料、工法 4 設備工事との取合 5 工事カルテの提出 ※ 6 監督職員事務所 ※ 7 工事用車両の経路および駐車スペース 8 騒音レベル測定 ※ 9 交通誘導員 ※ 10 その他事項	※ 1 適用する。 ※ 1 本工事に適用する土木建築材料等は設計図書に規定するもの、またはこれらと同程度のものとする。 ※ 1 設計図書に記載されていない特別な材料、工法は、当該製品の指定工法とする。 1 設備機器等の位置、取り合い等の確認できる施工図を提出して監督職員の承諾を得ること。 1 受注・変更・完成・訂正時にCORINSを提出すること。(後日、コピーを提出のこと。) ※ 1 適用しない。 1 各浄水場に大型車両が入る場合、浄水場附近の通行ルートを事前に、監督職員と調整すること。 ※ 2 工事車両の駐車スペースは、事前に監督職員の許可を取った場所に駐車すること。 1 敷地境界線にて工事中適宜計測すること。なお、実施時期については、監督職員と協議すること。なお、騒音計は明石市より貸出するものとする。 2 測定日・測定場所・測定結果・その時の現場の工事内容等を記載の上、報告書として監督職員に提出すること。 ※ 1 工事中に交通誘導員が必要と判断されるときは、必要に応じ配置すること。 ※ 2 歩道作業時は、必ず交通誘導員を配置すること。 また、本施工箇所里道は通学路となっているため、歩道上での作業及び重機等車両の出入り、通行には十分気を付けること。 1 別添、特記仕様書(追記)参照のこと。 ※ 2 トイレ等は、受注者にて用意すること。 ※ 3 工事作業時間は、原則9:00～17:00までとする。 なお、準備片づけの時間については、前後30分程度は認めるものとする。 ※ 4 祝祭日の作業については、禁止とする。 ※ 5 工事箇所南側の開発地を工事期間のみ借用する予定である。 現在、東建コーポレーションにて賃貸住宅建設中であるため、その建設業者と使用場所等について随時調整すること。 ※ 6 歩道上にある導水管等のバルブを受注者にて勝手に操作しないこと。 バルブ操作については全て水道局職員にて実施するものとする。 ※ 7 本工事に先立ち、水道局にて関電柱から引込柱までの電線の処理およびケーシング内の揚水管、揚水ポンプの撤去については、実施している。 そのため、源井内は通電されていない状況となっている。 ※ 8 工事箇所北側は駐車場となっているため、駐車車両には十分配慮すること。 ※ 9 撤去作業期間、夜間等は源井敷地内に第三者が侵入しないようにフェンスバリケードを設置すること。また、歩道部分に面している箇所はライトチューブ類を設置すること。 ※ 10 施設撤去時、通行人及び駐車車両等に破片類が飛散ないように敷地まわりに防音シート養生すること。 ※ 11 源井撤去時において、神主によるお祓いを実施予定(水道局で実施)である。
章	工 事	項 目	特記事項
2	土工	※ 1 ケーシング内砂充填 ※ 2 ケーシング内等コンクリート充填 ※ 3 工事写真 ※ 3 防音シート工	※ 1 砂充填については、何度かに分けながら砂を投入すること。 また、確実に砂が充填されているを確認し、必要に応じて水締めも実施すること。 ※ 1 所定の位置および大きさのコンクリートを打設すること。 ※ 2 コンクリート打設上面は、必ず開発地GL-3.0m以下とすること。 ※ 3 コンクリート打設後は、必ず数日養生させ、その後埋め戻しを実施すること。 ※ 4 コンクリート養生中は、掘削まわりは、バリカー等で立入り禁止措置を施すこと。 ※ 1 上記、ケーシング充填作業の工事写真は必ず撮影すること。 特に、砂充填完了写真、コンクリート充填完了写真および開発地GL-3.0m以下がわかる写真については、必ず撮影すること。 なお、撮影できていない場合は、再度掘削の上、撮影を実施するものとする。 なお、再掘削に伴う設計変更は実施しないものとする。 また、上記写真は、必要に応じ開発業者に受け渡す可能性があるため、それを踏まえてわかりやすく撮影すること。 ※ 2 本工事に伴う工事写真データは、最終JPGデータとして提出すること。 ※ 1 土工時および源井撤去時には、南面を除く3面には、騒音粉じん対策にて防音シートを適宜設置すること。

章	工 事	項 目	特記事項
2	土工	※ 4 重機 ※ 5 掘削、埋戻、盛土 ※ 6 土砂の仮置き	※ 1 低騒音・低振動型 ※ 2 排出ガス対策型 ※ 1 矢板を使用しての掘削を設計しているが、現場状況によりオープンカットにて掘削しても問題ないものとする。 ※ 1 埋戻、盛土工の一層厚さ20cm未満とする。 ※ 2 埋戻し時に粉塵が舞う場合は、散水を行ないながら埋戻しを行なうこと。 ※ 1 土砂の仮置き場はないため、原則掘削土は全量処分とする。 ただし、源井敷地内に収まる土量については、再利用可とする。 ※ 2 必要に応じ、仮置き中に土砂が舞わないように養生を行うこと。
章	工 事	項 目	特記事項
3	撤去・処分工	※ 1 水道配管 ※ 2 構造物撤去 ※ 3 処分	※ 1 公道上の導水管の撤去および帽設置時においては、配管技能(ダクタイル鋳鉄管)資格を持っているものに施工を実施させること。 ※ 1 騒音・振動に配慮して撤去すること。 ※ 2 撤去時に粉塵が舞う場合は、散水を行ないながら撤去を行なうこと。 ※ 1 各撤去物は、適切に処分すること。 ※ 2 有価物として、処理する場合は、適切に処理した書類を監督職員に提出すること。 なお、処分地までの運搬距離は10km未満としている ※ 3 既設塩ビ管、ボックス等、その他現場発生品については、その材質により適切に処分すること。処分費については、処分地等は大阪湾広域臨海環境整備センター(播磨事業所)、運搬距離14km未満、処分費目は廃プラスチック類でを計上している。
章	工 事	項 目	特記事項
4	その他	※ 1 現場代理人について ※ 2 資機材について ※ 3 現地工期について ※ 4 低入札調査基準価格または最低制限価格の算定方法について	■ 現場代理人の兼務 ■ 兼務を認める □ 兼務を認めない 1 現場代理人は、必ず週1回ある工程会議に出席し、浄水場との工程調整を行うこと。 □ 明石川浄水場 毎水曜日 10:00～ □ 鳥羽浄水場 毎木曜日 14:00～ □ 魚住浄水場 毎火曜日 14:00～ ※ 2 現場代理人は、携帯電話等の番号を監督職員および浄水場に知らせること。 ※ 3 緊急時等、急な呼び出し等に対応できるような体制を取るとともに、現場にすぐに駆けつけられようようにすること。 ※ 4 別工事等により、現場に駆けつけることが難しい予定がある場合は、事前に別工事の工程等の予定を監督職員に通知するとともに、工程会議にて事前に知らせておくこと。 ※ 1 必要があれば、西に数百m離れた場所に鳥羽浄水場があり、監督員と調整の上、その場内に資機材を置くことも可能である。ただし、資機材の管理は受注者の責任において実施すること。また、資機材の置場所は、監督員と調整の上、決定すること。 ※ 2 源井敷地内に資機材を存置することは可能であるが、開発地に存置することは原則しないこと。 ※ 1 現地の撤去工事は、 必ず6月末日までには完了しておくこと。 また、7月より賃貸住宅に入居開始予定の計画となっている。 ※ 1 低入札調査基準価格または最低制限価格の算定については、スクラップ控除を直接工事費に含めて算定している。

3 仕様書

設計図書の他に交付する「見積参考図書」とは入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、明石市工事請負契約約款 第1条でいう設計図書ではない。従って、「見積参考図書」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は施工条件及び地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について、受注者の責任において定めるものとする。なお、「見積参考図書」の有効期限は、本工事の入札（開札日）までとする。

本工事の内容については、契約数量表・数量計算書・設計図面のうち、契約数量表を優先する。



数 量 集 計 表

	種 別	内 容	単 位	計 測 数 量 (小数第2位止四捨五入)		数 値 基 準	設 計 数 量	摘 要	頁
令和5年度 鳥羽浄水場 第34号井戸施設撤去工事									
土工									
	掘削工		m3	43	47	1	43		
	埋戻工	流用土	m3	9	31	1	9		
	埋戻工	再生砕石	m3	48	65	1	49		
	埋戻工	砂	m3	8	90	1	9		
	残土処分工		m3	34	16	1	34		
	コンクリート打設	人力 18-12-20N	m3	0	52	0.1	0	5	
	型枠		m2	2	00	1	2		
	Asカッター	t=50	m	8	70	1	9		
	舗装版撤去工	t=50	m2	11	46	1	11		
	As処分		m3	0	57	0.1	0	6	
	仮復旧工	t=50	m2	1	26	1	1		
	路盤工	粒調砕石 t=100	m2	1	26	1	1		

数 量 集 計 表

	種 別	内 容	単 位	計 測 数 量 (小数第2位止四捨五入)	数 値 基 準	設 計 数 量	摘 要	頁
令和5年度 鳥羽浄水場 第34号井戸施設撤去工事								
土工	舗装復旧工	不陸整正共 t=50	m2	10 20	1	10		
	防音シート工	H=1.8m L=15m程度	式	1	1	1		
	フェンスバリケード	H=1.8m	m	11	1	11		
	誘導ブロック撤去・再設置工	砂基礎共	枚	5	1	5		
撤去・処分工								
	構造物取壊し工	コンクリート	m3	14 02	1	14		
	コンクリート処分	運搬とも	m3	14 02	1	14		
	電柱撤去・処分		本	1	1	1		
	引込開閉器盤撤去・処分	配線,配管類共	面	1	1	1		
	現場制御盤撤去・処分	配線,配管類, 接地極共	面	1	1	1		
	井戸用ケーブル類撤去・処分	プルBox共	m	100 0	1	100		
	FRP製井戸ピット蓋撤去・処分	付属金物類共	基	1	1	1		
	足掛け金物撤去・処分		個	3	1	3		
	ネットフェンス撤去・処分	H=1800 扉共	m	21 20	0.1	21 2		

数 量 集 計 表

	種 別	内 容	単 位	計 測 数 量 (小数第2位止四捨五入)		数 値 基 準	設 計 数 量	摘 要	頁
令和5年度 鳥羽浄水場 第34号井戸施設撤去工事									
撤去・処分工	導水管撤去・処分工	ダクタイトル鑄鉄管 φ150他	m	8	25	0.1	8	3	
	管切断工	φ 150	口	5		1	5		
	仕切弁撤去・処分工	φ 150	基	1		1	1		
	仕切弁Box撤去・処分工	H=1040	箇所	1		1	1		
	DK帽設置工	材工共	箇所	1		1	1		
	HIVP φ 50撤去・処分工		m	4	60	0.1	4	6	
	φ 50スリースバルブ撤去・処分工	Box共	箇所	1		1	1		
	SUS φ 50撤去・処分工		m	1	00	1	1		
	無収縮モルタル充填工		式	1		1	1		
	源井ケーシング撤去・処分工	φ 350, φ 250	m	1	90	0.1	1	9	
	ケーシングガス切断工	φ 350, φ 250	口	3		1	3		
	鋼製鋼矢板	H=2.0m 両側	m	5	64	0.1	5	6	
	交通整理人		人	30		1	30		

鳥羽浄水場第34号井戸施設撤去工事

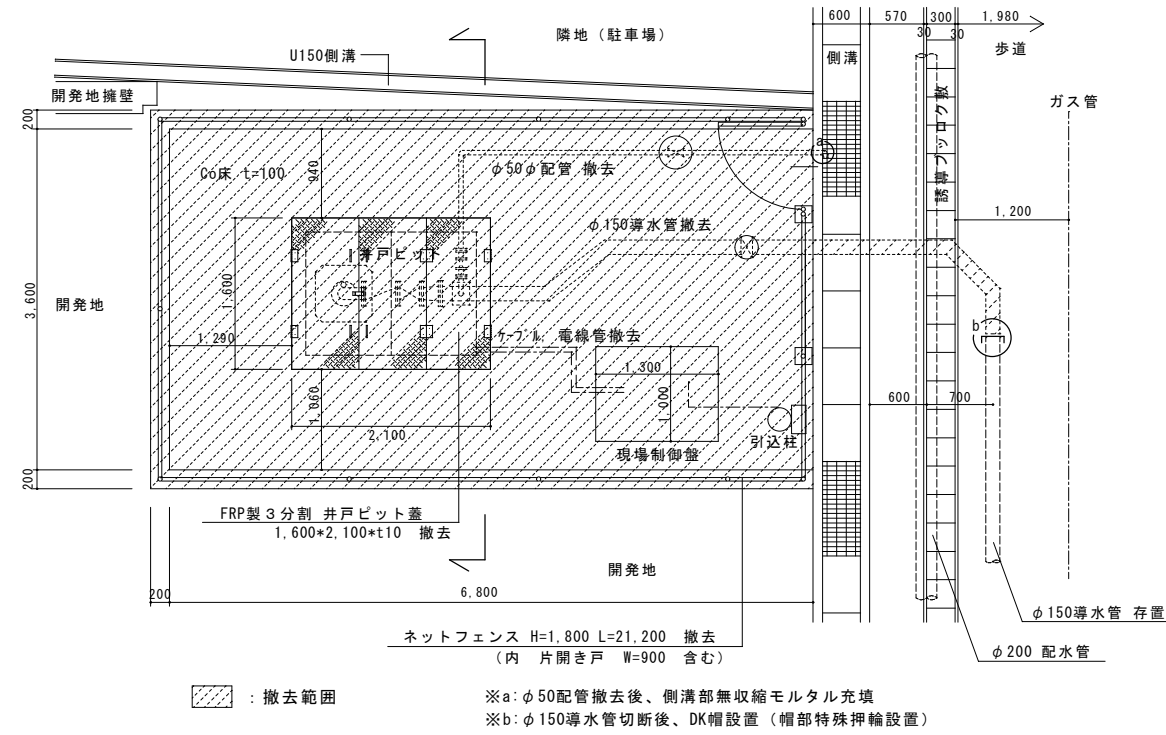
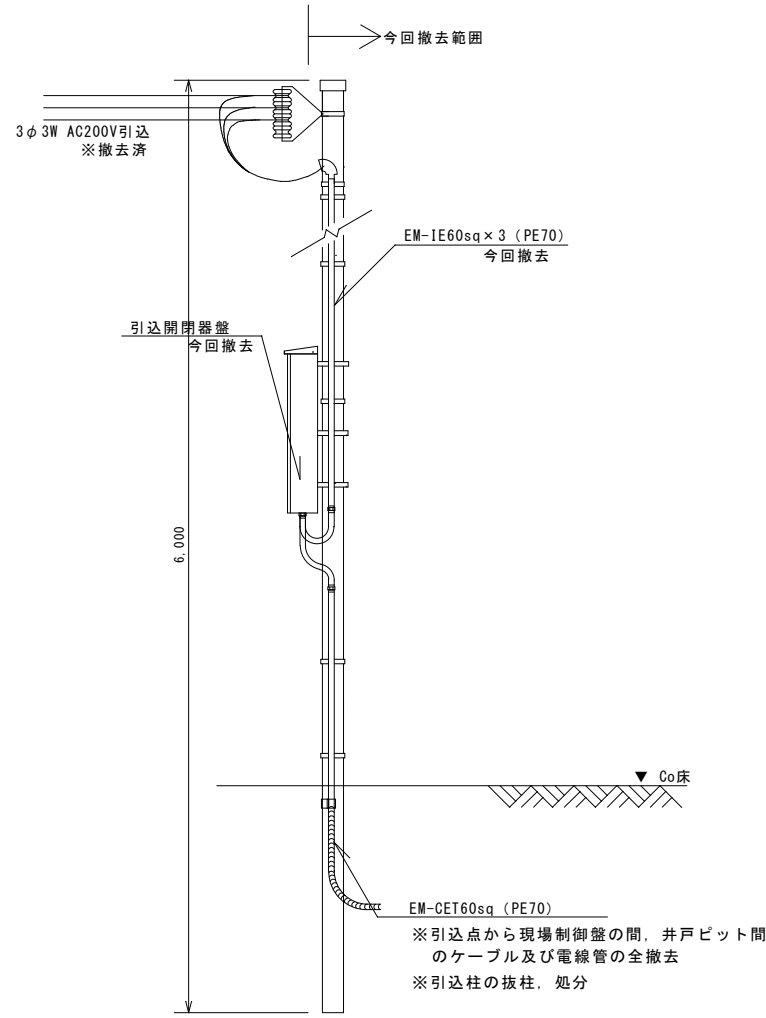
<単独>

名称	部位	計算式			か所	計	合計	名称	部位	計算式			か所	計	合計
【土工】								Asカッター	φ150	1.80			2	3.60	
掘削工	GL以下	11.09	3.60			39.92			舗装	2.55			2	5.10	8.70
	井戸ピット	▲2.10	1.60	1.35		▲4.54									(m)
		▲2.30	1.80	0.15		▲0.62									
	盤基礎	▲1.30	1.00	0.35		▲0.46		舗装版撤去	φ150	1.80	0.70			1.26	
	ケーシング	▲φ356		1.60		▲0.16			舗装	2.55	4.00			10.20	11.46
	Co床	▲6.80	3.60	0.10		▲2.45									(㎡)
	管路	▲φ169		6.40		▲0.14									
		▲φ50		4.36		▲0.01		As処分		11.46	0.05			0.57	(m3)
		0.70	0.97	3.56		2.41									
		0.70	1.32	2.84		2.62									
	擁壁部	11.50	0.50	1.20		6.90		仮復旧工	φ150	1.80	0.70			1.26	(㎡)
							43.47	路盤工(粒調碎石)							(m3)
										2.55	4.00			10.20	(㎡)
								舗装復旧工							
								不陸整正工共							
埋戻工(流用土)	擁壁部					6.90		防音シート工						1.00	(式)
	管路					2.41	9.31	H=1.8m L=15m程度						27.00	(㎡)
							(m3)								
埋戻工(再生碎石)	源井内	10.38	3.60			37.37		フェンスバリアード	H=1.8m					11.00	(m)
	擁壁部	0.51	17.60			8.98									
	管路	0.70	1.22	2.34		2.00									
		0.70	0.85	0.50		0.30	48.65	コンクリート打設 18-12-20N		φ250	0.50			0.02	
							(m3)			1.00	1.00	0.50		0.50	0.52
															(m3)
埋戻工(砂)	ケーシング内	φ250	177.30			8.70		型枠		1.00	0.50		4	2.00	(㎡)
	管路	0.70	0.57	0.50		0.20	8.90								
							(m3)								
								誘導ブロック撤去再設置工						5.00	(枚)
残土処分		43.47 - 9.31				34.16	(m3)	砂基礎共 t=30							
								側部モルタル充填		0.03	1.50	0.06	2	0.005	(m3)
								型枠		0.06	1.50		2	0.180	(㎡)

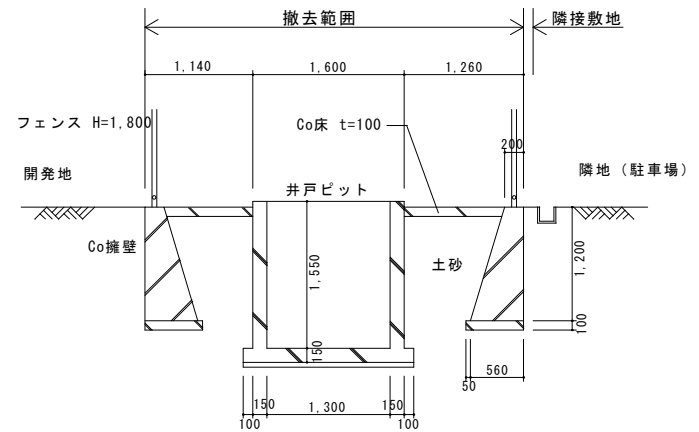
鳥羽浄水場第34号井戸施設撤去工事

<単独>

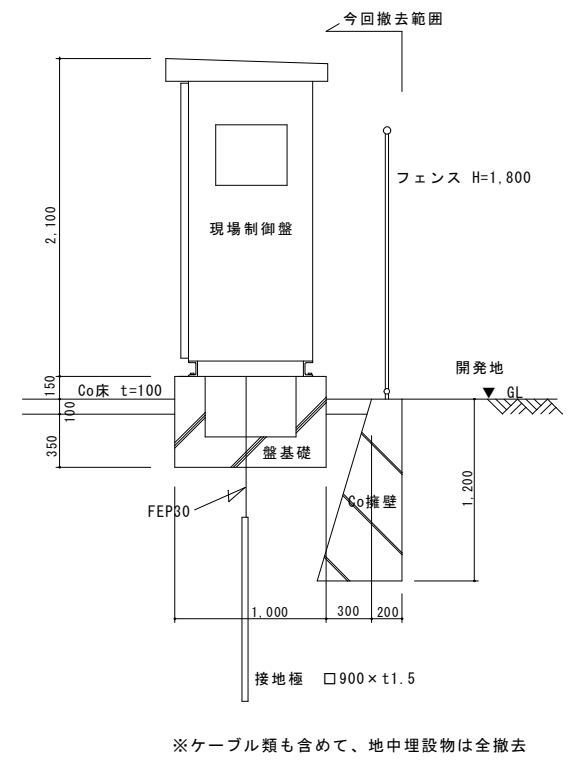
名 称	部 位	計 算 式			か 所	計	合 計	名 称	部 位	計 算 式			か 所	計	合 計
【撤去・処分工】								導水管撤去工						8.25	(m)
構造物取壊し工	擁壁	0.51	17.60			8.98		ダクタイル鋳鉄管φ150他							
Co部	Co床	20.99	0.10			2.10									
運搬・処分共	盤基礎	1.30	1.00	0.60		0.78		管切断工 φ150						5.00	(口)
		▲0.90	0.50	0.40		▲0.18									
	井戸ピット	2.10	1.60	1.55		5.21		仕切弁撤去工 φ150						1.00	(基)
		2.30	1.80	0.15		0.62									
		▲2.66	1.30			▲3.46		仕切弁Box撤去・処分工						1.00	(箇所)
	ケーシング	▲φ356	0.35			▲0.03		H=1040							
							14.02								
							(m3)	DK栓設置工(材工共)						1.00	(箇所)
								HIVPφ50撤去工						4.60	(m)
電柱撤去・処分						1.00	(本)								
		φ250	6.00			0.29	(m3)	φ50スリッパ撤去工						1.00	(箇所)
								Box共							
引込開閉器盤撤去・処分						1.00	(面)	SUSφ50撤去工						1.00	(m)
配線,配管類共								足掛け金物撤去						3.00	(個)
現場制御盤撤去・処分						1.00	(面)	無収縮珪砂充填	φ50	φ50	0.15		0.0003	(m3)	
配線,配管類,接地極共															
								ケーシング撤去工						1.90	(m)
井戸用ケーブル類撤去・処分						100.00	(m)	φ350,φ250							
ケーブルBox共															
FRP製井戸ピット蓋撤去・処分						1.00	(基)	ケーシングガス切断工						3.00	(口)
								φ350,φ250							
ネットフェンス撤去・処分	H=1800 扉共					21.20	(m)								
支柱 φ50						13.00	(本)								
								井戸蓋撤去 □600						1.00	(枚)



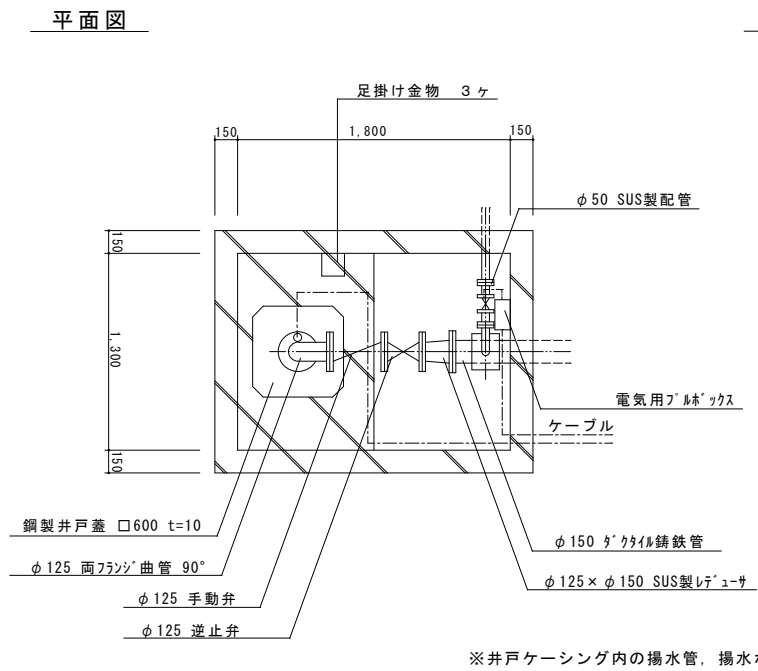
A断面図



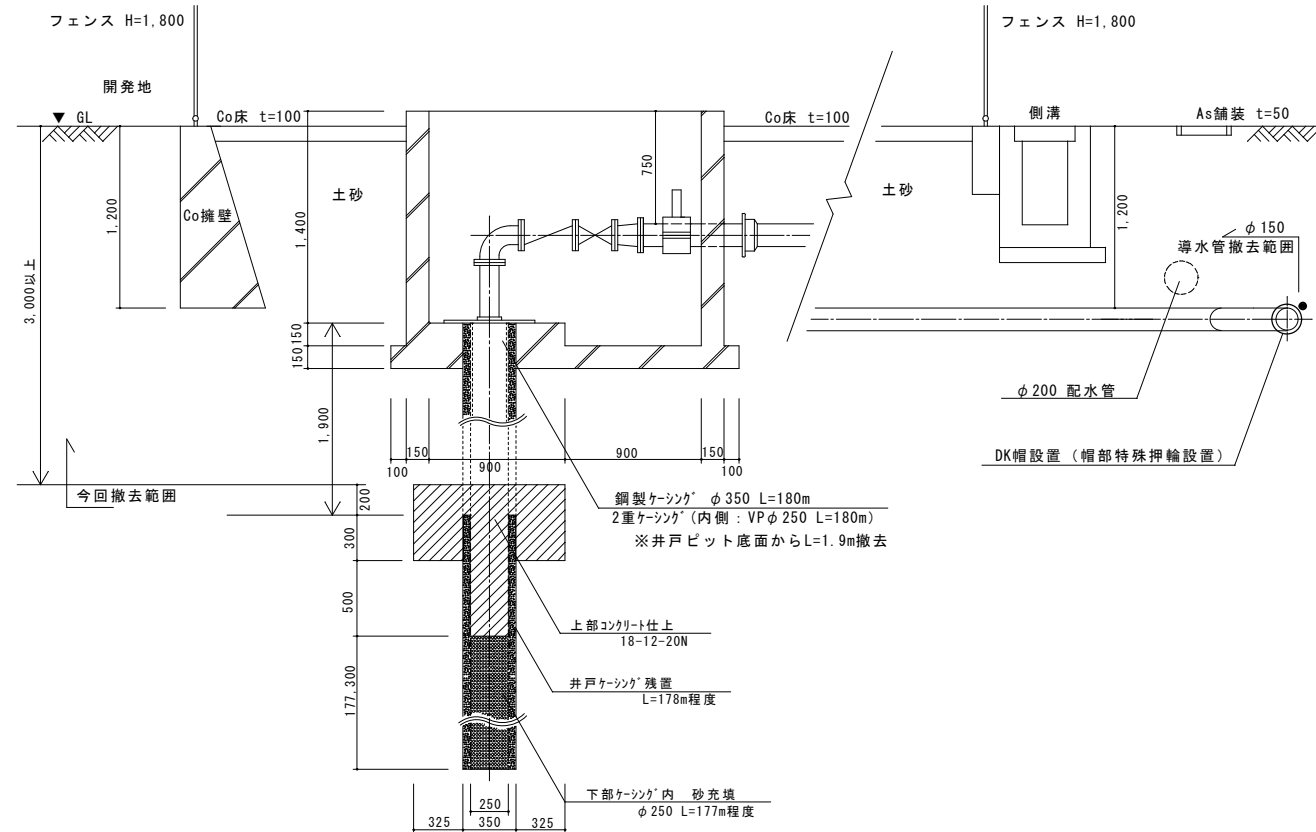
制御盤等 撤去参考図 S=1/25



井戸ピット 撤去詳細図 S=1/25



断面図



2023年 5月 1日	令和5年度 鳥羽浄水場第34号井戸施設撤去工事		
記号	西暦年月日	記事	作図・設計者
基準	レベル基準 T P	用途	鳥羽浄水場
規格	第3角法	場所	第34号井戸施設
図面名称	撤去平面図・断面図・詳細図		施設
図面番号	1 /	設備	取水施設
縮尺	図示	工種	土木
	明石市水道局 施設図面	原図管理	水道局
			TEL 078-918-5068

位置図



鳥羽浄水場 第34号井戸施設

小久保
6丁目

兵庫県立明石南高校

鳥羽浄水場

井財天北公園

井財天中公園

安養寺墓苑

慈泉寺霊園

市立
鳥羽保育所

西明寺

小久保
5丁目

見 積 参 考 図 書									
年 度	令和5年度	技術 管理者	課長	係長	係長	精算者	設計者	資 産 減 耗 費	
工 事 番 号								設 計 年 月 日	令 和 年 月 日
着 工 番 号								精 算 年 月 日	令 和 年 月 日
施 工 理 由									
施 工 箇 所	明石市小久保6丁目6地先					施 工 方 法 及 び 工 事 期 限	<input checked="" type="radio"/> 請 負 単 価 契 約 令 和 5 年 7 月 3 1 日 まで		
工 事 名 称	鳥羽浄水場第34号井戸施設撤去工事					支 払 い 方 法	前 払 金	40%以内	
							中 間 前 払	20%以内	
							部 分 払	なし	
工 事 概 要									
	土工				1 式				
	撤去・処分工				1 式				
当 初 設 計 金 額	円	内 消 費 税 相 当 額		円	当 初 請 負 金 額	円	内 消 費 税 相 当 額		円
変 更 設 計 金 額	円	内 消 費 税 相 当 額		円	変 更 請 負 金 額	円	内 消 費 税 相 当 額		円
増 減	円	増 減		円	増 減	円	増 減		円

総括情報表

単価適用年月日	0-05.05.01(0)		
	今 回		前 回
工種区分 施工地域区分 工事価格丸め	03 構造物工事 (浄水場等) 24 市街地 01 万円丸め		

工事費内訳書

頁0-0002/0087

	費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費							
	鳥羽F34号井戸施設						
	土木工事						
	撤去工事						
	土工						
	矢板賃料	1		式			工種 第0001号明細表
	撤去・処分工	1		式			工種 第0002号明細表
	交通誘導管理工	1		式			工種 第0003号明細表
		1		式			工種 第0004号明細表
直接工事費計							

工 事 費 内 訳 書

頁0-0003/0087

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設費計						
運搬費						
仮設材運搬費			式			
	1		式			工種 第0005号明細表
共通仮設費率分			式			
純工事費計						
現場管理費			式			
工事原価計						
一般管理費等			式			
スクラップ控除			式			

土工

工種明細表

工種 第0001号明細表

頁0-0005/0087

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
掘削積込工	43	m3			施工 第0-0001号内訳表
埋戻工（埋戻し材→流用土）	9	m3			施工 第0-0003号内訳表
埋戻工（埋戻し材→再生切込碎石）	49	m3			施工 第0-0005号内訳表
埋戻工（埋戻し材→砂） 人力 か-シグ内等	9	m3			施工 第0-0006号内訳表
残土処分 〔榊田口建材〕 運搬距離 L=6.3km	34	m3			施工 第0-0008号内訳表
コンクリート打設工 18-12-20N	0.5	m3			施工 第0-0011号内訳表
型枠 一般型枠 小型構造物	2	m2			施工 第0-0012号内訳表
舗装版切断（アスファルト舗装版） As舗装版厚→15cm以下	9	m			施工 第0-0013号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	11	m2			施工 第0-0014号内訳表

土工

工種明細表

工種 第0001号明細表

頁0-0006/0087

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
残塊処分工(アスファルト) 〔加古川リサイクル有〕 運搬距離 L=11.4km	0.6	m3			施工 第0-0016号内訳表
仮復旧工〔密粒度〔再〕(13)〕 厚 5cm	1	m2			施工 第0-0020号内訳表
路盤工(粒調碎石) 仕上り厚10cm	1	m2			施工 第0-0023号内訳表
不陸整正工(粒調碎石) 施工幅：1.8m 未満、補足材厚3cm	10	m2			施工 第0-0025号内訳表
表層(歩道部) t = 50mm 密粒度アスコン〔再〕(13)	10	m2			施工 第0-0026号内訳表
誘導ブロック撤去・再設置工 砂基礎共	5	枚			施工 第0-0027号内訳表
防音シート工 H=1.8m, L=15m程度	1	式			施工 第0-0031号内訳表
フェンスバリケード H=1.8m	11	m			
軽量鋼矢板建込引抜工(両側分)	5.6	m			施工 第0-0032号内訳表

撤去・処分工

工種明細表

工種 第0003号明細表

頁0-0009/0087

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
構造物取壊し工 コンクリート構造物 機械+人力併用	14	m3			施工 第0-0035号内訳表
残塊処分工(コンクリート) 〔田口建材株〕 運搬距離 L=6.3km	14	m3			施工 第0-0038号内訳表
電柱撤去・処分	1	本			施工 第0-0042号内訳表
引込開閉器盤撤去 配線,配管類共	1	面			施工 第0-0046号内訳表
現場制御盤撤去 配線,配管類共	1	面			施工 第0-0048号内訳表
井戸用ケーブル類撤去 配管,ケーブルBox共	100	m			施工 第0-0049号内訳表
FRP製井戸ピット蓋撤去	1	基			施工 第0-0050号内訳表
足掛金物撤去	3	箇所			施工 第0-0051号内訳表
ネットフェンス撤去 H=1,800 片開扉共	21.2	m			施工 第0-0053号内訳表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
導水管撤去 呼び径 150mm他 鋼製井戸蓋共	8.3	m			施工 第0-0055号内訳表
鋳鉄管(既設管)撤去切断工(エンジンカッター) ダクタイル鋳鉄管 呼び径150mm	5	口			施工 第0-0057号内訳表
円形1号ボックス撤去工(H=1040) 鉄蓋設置撤去含む	1	箇所			施工 第0-0058号内訳表
鋳鉄製仕切弁(機械力)撤去 縦型仕切弁 呼び径 150mm	1	基			施工 第0-0064号内訳表
DK 帽 φ150 設置工 接合材含む 内面エポキシ粉体塗装	1	箇所			施工 第0-0065号内訳表
HIVP管 撤去 呼び径 50mm	4.6	m			施工 第0-0067号内訳表
φ50スリースバルブ 撤去 Box共	1	箇所			施工 第0-0068号内訳表
SUS管撤去 呼び径 50mm	1.0	m			施工 第0-0071号内訳表
無収縮モルタル充填	1	式			施工 第0-0072号内訳表

撤去・処分工

工種明細表

工種 第0003号明細表

頁0-0011/0087

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
井戸ケーシング撤去 φ350, φ250	1.9	m			施工 第0-0073号内訳表
ケーシングガス切断工 φ350, φ250	3	口			施工 第0-0076号内訳表
現場発生品・支給品運搬 スクラップ処分	1	回			施工 第0-0078号内訳表
現場発生品・支給品運搬 廃プラスチック処分	1	回			施工 第0-0079号内訳表
処分費（廃プラスチック類）	0.3	t			
合 計	1	式			

施工単価表

施工 第0-0003号内訳表

頁0-0016/0087

埋戻工（埋戻し材→流用土）

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
流用土		m3			
バックホ運転		時間			
タンク運転（賃料）		日			
合計	100	m3			
単位当り	1	m3			
A 埋戻し材の種類 B バックホ規格		=2 =3	流用土 バックホ 山積0.28m3(平積0.2m3)		

施工単価表

施工 第0-0005号内訳表

頁0-0017/0087

埋戻工（埋戻し材→再生切込砕石）

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)		m3			
バックホ運転		時間			
クワ運転（賃料）		日			
合 計	100	m3			
単 位 当 り	1	m3			
A 埋戻し材の種類 B バックホ規格		=5 =3	再生切込砕石 バックホ 山積0.28m3(平積0.2m3)		

土砂等運搬

[規格1] 土質->土砂(岩塊・玉石混り土含む)

[規格2]

積算単価算出表

[摘要]

施工 第0-0009号内訳表

頁0-0021/0087

1

m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		ダンプトラック[オロト・ディーゼル] 4t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 4t積級[オロト・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K								
R1		運転手(一般)			運転手(一般)			
R								
Z1		軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	土砂等発生現場	=2	小規模					
B	積込機種・規格	=5	バックホ山積0.28m3(平積0.2m3)					
C	土質	=1	土砂(岩塊・玉石混り土含む)					
D	DID区間の有無	=2	有り					
E	運搬距離	=16	7.0km以下					

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R3		特殊作業員			特殊作業員			
R								
Z1		生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%			生コンクリート 18-12-20N			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	構造物種別	=2		小型構造物				
B	打設工法	=4		人力打設				
C	コンクリート規格	=27		コンクリート(各種)				
E	養生工の種類	=2		一般養生				
G	現場内小運搬の有無	=1		有り				
I	コンクリート(各種) (円/m3)の単価コード	=1		コンクリート(各種) (円/m3)の単価コード				

型枠
[規格1] 一般型枠

[規格2] 小型構造物

積算単価算出表

施工 第0-0012号内訳表

1
頁0-0024/0087
m2 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		型わく工			型わく工			
R2		普通作業員			普通作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z								
					計			
積算単価 =								
A	型枠の種類	=1	一般型枠					
B	構造物の種類	=2	小型構造物					

舗装版切断(アスファルト舗装版)
[規格1] As舗装版厚->15cm以下

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0013号内訳表

頁0-0025/0087

[摘要]

1 m 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		コンクリートカッタ 切削深20cm級 [ハキューム式・湿式]			コンクリートカッタ [ハキューム式・湿式] 20cm級			
K								
R1		特殊作業員			特殊作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R3		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		コンクリートカッタ(プレート) 径22インチ			舗道版切断 カッタープレート 径22インチ			
Z2		ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	舗装版種別	=1		アスファルト舗装版				
B	アスファルト舗装版厚	=1		15cm以下				

施工単価表

施工 第0-0020号内訳表

頁0-0030/0087

仮復旧工 [密粒度[再](13)]

[規格1]厚 5cm

[規格2]

[摘要]

100

m2

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			1
特殊作業員		人			1
普通作業員		人			1
再生密粒度アスコン TOP13		t			
振動ローリ運転		日			1
振動コンパクタ運転		日			1
諸雑費		%			#01
合 計	100	m2			
単 位 当 り	1	m2			

表層(歩道部)
[規格1] t=50mm

[規格2] 密粒度アスコン[再](13)

積算単価算出表

施工 第0-0026号内訳表

頁0-0033/0087
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	振動ローラ(舗装用) 質量0.5~0.6t [ハンドガイド式]			振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 0.5~0.6t			
K2	振動コンパクタ 質量40~60kg [前進型]			振動コンパクタ [前進型] 40~60kg			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	再生密粒度アスコン TOP13 t=40mm			再生密粒度アスコン TOP13			
Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用			アスファルト乳剤 PK-3(プライムコート用)			
Z3	カソリン レキユラー スタント			レキユラーカソリン			
Z4	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	平均幅員	=1	1.4m未満(1層当り平均厚50mm以下)				
B	1層当り平均仕上り厚(mm)	=50	1層当り平均仕上り厚(mm)				
C	材料	=6	密粒度アスコン[再](13)				

特殊ブロック舗装
[規格1] 作業区分→再利用設置

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0028号内訳表

頁0-0036/0087
m2 当り

1

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		ブロック工			ブロック工			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R4		特殊作業員			特殊作業員			
R								
Z								
					計			
積算単価 =								
A	作業区分	=3		再利用設置				

特殊ブロック舗装
[規格1] 作業区分→撤去

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0029号内訳表

頁0-0037/0087
m2 当り

1

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		ブロック工			ブロック工			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R4		特殊作業員			特殊作業員			
R								
Z								
					計			
積算単価 =								
A	作業区分	=2	撤去					

モルタル練
[規格1] 普通 混合比->1:2

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0030号内訳表

頁0-0038/0087
m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		セメント 高炉B 25kg袋入			普通ポルトランドセメント (袋物25kg入り)			
Z2		砂 細目(洗い)			砂 洗砂			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	セメント種別	=1	普通					
B	砂種類	=1	洗砂					
C	混合比	=2	1:2					

施工単価表

施工 第0-0032号内訳表

頁0-0040/0087

軽量鋼矢板建込引抜工（両側分）

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホ運転		時間			
トラックレン 油圧伸縮ジブ型 4.9t吊 ホータ付き		日			
合 計	100	m			
単 位 当 り	1	m			
A 作業種別		=3	建込+引抜		
B 掘削深		=2	掘削深 2.0m以下		
C バックホ規格		=3	バックホ 山積0.28m3(平積0.2m3)		

施工単価表

施工 第0-0034号内訳表

頁0-0041/0087

土留支保工（設置＋撤去）

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	[規格2] 単位	[規格2] 単価	[摘要] 金額	[摘要] 備考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
合 計	100	m			
単 位 当 り	1	m			
A 施工区分		=3			
B 切梁種別		=1			
C 設置段数		=1			

設置＋撤去
切梁種別 水圧式パイプ
設置段数 1段 2.0m以下

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		トラック トラック4～4.5t積 2.9t吊 [クレーン装置付]			トラック [クレーン装置付] 4～4.5t級 2.9t吊			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	トラック機種	=2		クレーン装置付4～4.5t積2.9t吊				
B	片道運搬距離(km)	=2		5.0km以下				
C	1回当り平均積載質量(t)	=9		2.0t超2.6t以下				

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		トラック トラック4～4.5t積 2.9t吊 [クレーン装置付]			トラック [クレーン装置付] 4～4.5t級 2.9t吊			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価	=							
A	トラック機種	=2	クレーン装置付4～4.5t積2.9t吊					
B	片道運搬距離(km)	=4	14.0km以下					
C	1回当り平均積載質量(t)	=9	2.0t超2.6t以下					

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		トラック ベーストラック2t積 2.0t吊 [クレーン装置付]			トラック [クレーン装置付] 2t級 2.0t吊			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価	=							
A	トラック機種	=1	クレーン装置付2t積2t吊					
B	片道運搬距離(km)	=3	9.0km以下					
C	1回当り平均積載質量(t)	=6	0.8t超1.1t以下					

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		トラック ベーストラック2t積 2.0t吊 [クレーン装置付]			トラック [クレーン装置付] 2t級 2.0t吊			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	トラック機種	=1		クレーン装置付2t積2t吊				
B	片道運搬距離(km)	=4		14.0km以下				
C	1回当り平均積載質量(t)	=3		0.2t超0.3t以下				

